一般社団法人日本看護技術学会技術研究成果検討委員会 主催

2023年度第13回全国キャラバン研修会活動報告

対面とオンラ インのハイブ リッド研修会 ジェネラルナースの技術力を高めよう

「移動動作技術のきほんと用具の活用」を 開催しました。その様子を報告します!

今回の研修会で扱った動作は、私たちもふだんよく使う動作です。その自然な動きを理解することは、介助する側の動きだけでなく、適切に物品配置をする意味にもつながります。今までに気づいていなかった発見が、見つけられたと思います。さらに、2022年に日本看護技術学会に意見が求められたストレッチャーへの移乗中に転落した業務上過失傷害事件を紹介し、転落事故が起きる要因と改善点を解説しました。また、用具を活用した移動技術を実際に体験していただきました。

研修内容:①危険!ストレチャー移乗

- ②再考!移動動作技術のきほん!
- ③滑る?滑らない?摩擦のちから!
- 4重心を安定させるとこんなに楽なの!
- ⑤用具の活用!スライディングシート・ボード・リフト移動

日時

2024年3月9日 (土) 13:00~16:00 神奈川県立保健福祉大学3階実習室

講師

技術研究成果検討委員会 移動動作評価班

西田直子(京都先端科学大学) 國澤尚子(埼玉県立大学) 若村智子(京都大学) 水戸優子(神奈川県立保健福祉大学) 平田美和(帝京大学) 冨田川智志(日本福祉大学) 首藤英里香(札幌保健医療大学)

*本活動において報告すべきCOIはございません。

スケジュール

時刻	内容	方法	担当者
13:00	・開会挨拶、オリエンテーション、録画のアナウンス ・移動動作評価班のメンバー紹介		西田
13:03	本日の流れについて		國澤
13:05	① 危険!ストレッチャー移乗	講義	西田
13:25	② 再考!移動動作技術のきほん!	講義	平田
13:45	③ 滑る?滑らない?摩擦のちから!(演習を含む)	講義	首藤
14:15	⑤ 用具の活用! 臥位移乗用ボード、スタンディングマシーン、リフト移動	講義	富田川
		研我	鱼四川
14:30	休憩		
14:40	③ ベッド上移動	演習	首藤他
14:45	④ 車椅子体験	演習	水戸他
14:55	⑤ スライディングボード	演習	冨田川他
15:05	⑤ 臥位移乗用ボード(ストレッチャー、リクライニング車椅子)	演習	富田川他
15:20	⑤ リフト	演習	富田川他
15:45	・研修会のまとめ	7	國澤
16:00	・閉会挨拶、アンケートのお願い、記念撮影		西田
16:05	終了		

参加理由

参加者の皆さんから参加理由を教えてもらいました

- リフトの使い方について授業で詳しく取り扱われることがなく、実際にどのように使用するのか知りた かった。
- 学生の演習でストレッチャー移乗を行っていますが、事故防止について確認したかったため。
- スライディングシートの体験をしてみたかった。
- 実際に講義で説明していても、演習では扱っていない内容(スライディングボード、リフト)について確認 することで、今後の演習内容を再考する資料にしたいと考えているからです。大変参考になります。
- 車椅子への移乗の際に、介助者の足を外にするとしても介助者が前に立つことで患者が前傾になれな くて立ち上がりが難しいと思っていた。より良い方法を知りたかったので参加しました。
- 車椅子への移乗を学生に説明しているが、根拠と共に明確に示しているテキストは見当たらないため、 以前このような研修でご教示いただいた資料を基に説明していました。何か最新の情報があればと思 い参加させていただきました。
- 学生にボディメカニクスを教える際、講義と演習をどのように結びつけるか考えていたため。
- 車いす移乗について今まで足を患者の足の間に入れていたが、最近では行わないことを初めて知った。

研修の様子

参加者:合計46名(対面7名 オンライン39名)

会場での講義の様子

オンラインでの講義の様子



ほん'は何か!

介助者3名のうち1名は移動先のストレッチャー側に立つ。 患者の下肢を移乗補助器具に乗せるため足元に移動し、スライドボードに 載ったことを確認。

ベッド側の介助者が移乗補助器具を押すことを声掛けを行わず、看護師2

移動先のストレッチャーの固定の確認





スタンディングリフトの種類

◎特徴:車いす、ベッド、トイレなどで立ち上がる時に 差し込んで吊り上げる、あるいは機器に備え付けられた椅子や 担架などの台座を使って前かがみ姿勢を保持し、 介助するのに使う立位・移乗支援機器

*床を移動し、目的の場所に移乗させることもできる





台座式

とても大変です。ここでは、ハイソック ス等でシートを用いて、楽に履けるか どうかを試してみましょう。履いた後 は、シートを取り除いてください。

体験:弾性ストッキングを履くことは、

自然な身体の動きの確認(浅く座る)

1. 摩擦と滑りの体験②

可能であれば…手持ちのハイソックス、もしあれば弾性ストッ

キングと、ゴミ袋(体験①で使用したもの)を用意してくだ

深く座っている状態から浅 く座るためにどのような動き をしましたか?



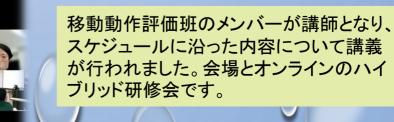
【使用物品】

さい。

D体幹を左右交互に傾けて、 **臀部を片方づつ前方に出す** 2臀部を一度浮かして前方に

3臀部を滑らせて前方に出す









演習風景:リフトでの車椅子移乗 皆さん熱心に移動技術を実践していました







演習では、移動動作評価班メンバー6名と業者さん1名(molift®)が講師となり、7名の参加者の実技をサポートしました。オンラインの参加者には、1名のメンバーが補足説明をしたり、チャットで質問を受けて会場とつなぐことをして研修を進めました。



参加者アンケー結果トを報告します



スタンディングマシーン 3.4

図4. 関心のあった移動動作





研修に参加して感想・質問



- 臨床現場ではまだ一人で介助をしていたり、用具の使用が進んでいない状況があります。看護基礎教育から対象者と介助者双方にとって安全で安楽な移乗介助ができるようにしていきたいと改めて思いました。とても有意義な研修でした。
- 移動技術で事故が起きている実態を知り、基本技術や用具点検の重要性を改めて認識しました。技術学会に参加したいと思います。
- オンライン参加で体験はできませんでしたが、参加者の皆さんが楽しそうに体験している様子がよく 伝わってきました。個人的に印象に残った場面は、車椅子移乗を学生に教える際、看護師の足の位 置は、いつも足を入れるのではなく対象者の状態に合わせて選択されなければならないとの介助の 解説が勉強になりました。有難うございました。
- 私は患者さんのベッドやストレッチャーの移乗が苦手でしたが、本研修会で摩擦やスライディングボードのことを詳しく学べたので少し自信がつきました。また車椅子の移乗での足の位置も知ることができました。それからスタンディングマシーンは初めて見ました。看護の用具にさらに興味を持つことができました。
- 「ボディメカニクスにも限界がある」という言葉が印象的でした。授業では、ボディメカニクスを使うと看護師も患者さんも安全で楽だということを伝え続けてきましたが、どんな状況で用具を活用すべきなのか、看護師の人数配置を考えるべきなのか、看護師と患者の位置関係をどう考えるのかなど、アセスメントすることの重要性を伝えなければならないと感じました。

参加者で記念撮影しました ※許可を得て掲載しております





会場での記念写真

オンラインでの記念写真

皆さん熱心に講義視聴・移動技術を実践していました。この研修会が看護実践に つながることを期待しています。ありがとうございました。

日本看護技術学会技術研究成果検討委員会移動動作評価班一同 2024年5月掲載